

知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会第7回 策定協議会議事録<要旨>

日時：平成19年11月26日（火）13：30～15：30

開催場所：知立市役所 3階 第2・3会議室

出席者：委員12名（欠席者1名）、オブザーバー3名（欠席者1名）、事務局7名

<議事次第>

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告事項
 - 1) 第6回策定協議会議事録の確認
4. 協議事項
 - 1) UD整備事例の報告（3）
 - 2) プロセス検証作業結果の検討
 - 3) プロセスII「現況を把握する」住民アンケートの検討
 - 4) 今後のスケジュールについて
5. その他
6. 閉会

<挨拶>

野崎会長：ドイツの駅の設計を行う話が来ている。参考になることがあればお伝えする。

<報告事項概要>

◆1) 第6回策定協議会議事録の確認

加藤様：駅に隣接した2つの踏切の交通量は平成13年のデータで自動車類は13559台、歩行者は11198人、北への渋滞は15時台に220m、南への渋滞は7、8時台に500mがピーク。2つの踏切が共に遮断している時間は7時から19時の12時間でおよそ8時間、また、踏切を南から北に渡る歩行者のうち63%が駅を利用している。

<協議事項概要>

◆1) UD整備事例の報告（3）

事務局：県条例をこえた内容の市条例を定めた宮崎市の事例を紹介。対象建築物の規模を問わず、建築確認申請は事前に適合を確認するよう定められている。また、既存建物の改修時には補助金制度がある。担当者は準備段階から固定、庁内ワーキングも継続している。今は観光バリアフリーを検討中。なお、広報は浸透しておらず、補助金の交付は年間7件程度の600万

田中委員：知立市にも無料の耐震診断と60万までの工事補助金はあるが、申請は少ない。

藤澤委員：耐震診断の基準が難しくなった。やれないという人がかなりいる。

事務局：住宅改修では身体障害者向けの福祉制度がある、利用率は次回報告する。

◆2) プロセス検証作業結果の検討

事務局：10月30日のバリアフリー教室を行い、朝日・中日新聞、広報知立に掲載された。また、アンケートも行った。詳細な結果はまたご案内予定。

事務局：26日（金）午後と27日（土）の昼前後で行った駅前アンケートの報告。両日とも雨だったが併せて162件回収できた。回答者の年齢は10代から80代。パネルの設置とクリアファイルの配布を行った。クリアファイルは未回答の方にも配布し、2日で250部程。詳細な結果については現在櫻井先生が集計中。また、タウンウォッチングの意見を全体と役割ごとに分けて櫻井先生にまとめて頂いた。

事務局：ガイドラインは大きく2部構成とし、1部を推進に向けての方策、2部をチェックリストとして作成する。チェックリストは左側に項目と法律、右側にイラストという構成にする。

野崎会長：小学生に熱心に参加頂いたが市民の方々の認知度はどうか。

森岡委員：100%低床バスになっているが、1週間に1件あるかどうか。ラッシュ帯で視線が辛い等の理由もある。ネックは健常者の理解。ラッシュ帯や満員だとお断りもある。先に電話を頂ければ運転手も助かる。

倉地委員：乗る方は当たり前顔で乗る。健常者からの苦情は運転手にきつい言葉で困る。

森岡委員：ロック等の時間もあるので短時間では乗せられない、当たり前に乗るためにはそこがネック。

五味委員：利用者は人に気兼ねしたくないからバス、電車より車がいい。電車は連絡しないとスムーズにいかないのが即日決めなどが難しい。アメリカでは乗客は嫌な顔をせずに助けてくれた。

野崎会長：啓蒙活動が必要。敷地や道路など、バスまで行くにも大変だと市民の方にもしてもらおう。ヨーロッパでは福祉タクシーが主体。電車、バスで移動するには健常者の理解が必要。

倉地委員：知立駅のタクシー乗り場を車いす対応にしたが車いすでの利用者はほとんどいない。

宮崎委員：バリアフリー教室で子供と一緒にバスに乗ったが乗るまでの力が必要。

事務局：今回はワンステップバスだったが、ノンステップならあれよりも傾斜は無い。名古屋市でも市側からすると利用者が少ないと言われるが、実際には一杯だった、時間が合わないという場合もあるため本来なら乗って頂ける方はもっとあるのだろう。また、心理的に乗りづらいという面もあり、それは高齢者やベビーカーについても同様。

野崎会長：私の母親も車いすでの外出は、迷惑をかけるなど気が引けるのということでほとんど使わない。そういう方が多いのでは。フィジカルだけでなく心の問題も関わってくると思う。

倉地委員：タクシーが迎えに行く際にまず困るのは4、5階ある市営住宅から車いすをおろすとき。平屋でも玄関で段差がある。高齢者についてはそこから考えたい。

◆3) プロセスⅡ「現況を把握する」住民アンケートの検討

事務局：住民を対象として来年度重点整備に向けたアンケートを1月中旬から2月中旬に向けて行う。個人宛で約1000人程度で調査方法は現在調整中、ワークグループを併せて行いたい。

野崎会長：アンケートで住民の気持ちを知りたい。質問することで認識して頂くことも兼ねる。

◆4) 今後のスケジュールについて

事務局：11月16日の第3回作業部会で公共物を対象にチェックリストを検証した。今後は1月中旬に協議会でワークグループを行い、民間施設を対象にチェックリストの検証を行う。その際、併せて計画素案を配布し2月頭までに意見を頂きたい。その後2月5日に第4回作業部会、2月18日に第8回協議会を行う。住民アンケートについても進めていく。協議会后にパブリックコメントとして市民の方に意見を募集する。3月下旬にUD講演会を啓発イベントと兼ねて中央公民館で行う。皆様にもスタッフとして参加頂きたい。

野崎会長：3月下旬のUD講演会は外の方を招いて討論会形式で行う。1月中旬にチェックリストをお願いしたい、このときに新年会というか懇親会を行いたいと思っている。

<その他>

田中委員：市民の心の問題があるかと、時間が掛かるかも知れませんがこの協議会から輪を広げていきたい。今、区画整理している所も設計をするかということを見せて頂き、電線の地中化、民地についてもしっかりとやってもらうということで担当の部署をお願いする。

<閉会>

事務局：これをもって知立市ユニバーサルデザイン推進計画策定協議会を閉会する。